公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌 片山哲 筆

2024年8・9・10月号

編集発行人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー 代表理事 中村 信博

日本クリスチャン・アカデミー 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23 075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

635号 第

いることができますように。

「ことばを正しく、適切に

用

ソコンやスマ

師、 を届けるトレーニング」の講 活動センターの講座 の一節です。 友野富美子さんの開会祈

ました。 るのかについて考えさせられ な「ことば」を用いて生きて この祈りを聞きながら、 私たちは普段どのよう 61 改

です。 等に表示されているもの。 を通して耳に入ってくるも た、私たちの口やスピーカー れているものやディスプレイ す。それは活字として印刷さ ざまな「ことば」に触れていま 私たちは生活の中で、 さま ま

多くの「ことば」が私たちの中 うになり、 構内の広告の電子化が進み、 に入ってくるようになりまし 言葉が次々と映し出されるよ い動 特に最近は、 画の中でキャッチーな 目からも耳からも 電車 の中や駅

7

切な「ことば」を選び取 るのでしょうか どのように、自分にとって大 このような「ことば」が溢 いる環境の中で、私たちは いって n

は、先日開催された関東 「ことば こもり、 説や有名な牧師の名説教も見れば、聖書の分かりやすい解 画期的なことです。 た時代には考えられなかった 冊も開かなければならなかっ ることのできる時代となりま した。これは、 注解書や説教集を何 、図書館や書斎に

「ことば」を探すために本を しかし一方で、 大切な一 9

す。

索にふける時間はほとんどな た、「ことば」を探しながら思 探したり、 本をめくること。 ま

そ

0

有

寄せることが難しい時代にな くなりました。 ってきているとも感じていま したが、その分、一つ 「ことば」に心を傾け、思いを 確かに便利な時 代に 一つの なり ま

の 関 紙 の名前

に 分 せ کے

ことばの 力



動センター 運営委員長 充

めるというこ

関

れは、単に「言葉を通した交流の中核に据えてきました。こ 人と人とが出会い、互いにさ 述べているのではありま いうことや「討論の重要さ」を の場を大切にしましょう」と では「はなしあい」をその活動 まざまな事柄に気づき、 いる通り、 「はなしあい」を通し アカデミー 運 て、 せ ミー二十周年記念』の中で、 た松村克己さんは『はなしあ ミーの運動を支えてくださっ 大切にしているのです。 合う人なのである。 合われる事柄ではなくて話し い世界を見出していくことを 「「はなしあ 関心事となるのは実は話し 日本クリスチャンアカデ \exists 本クリスチャンアカデ い」において中心 (24頁)」 かつ

にもな また何かを読む時には、 なく、その一つ一つの言葉を かり合い、理解し合うため なる技術なのかもしれま 溢れる現代にとっては必須 益な事柄だけを探そうとしま け、そこから自分にとって のものを受け止 通して現れるその人の存在そ 必要なのは、 す。これは、 中にある内容や事柄に目を向 ん。しかし、人同士が本当に 私たちは、人と話し合う しておら 特に「ことば」が いれまし 情報や事柄では

願っています。 が出会い、 なしあい」を通して人と人と 取り、 ば」だけを無意識の内に選び とです。 する思いを広げていきたい の大切さ、 しまいました。 や自分にとって有益な「こと にとって都合の良い「ことば」 で生きている私たちは、 そのような中にあって 「ことば」が溢れる世界の 取り込むようになっ 「ことば」を大切 理解し合えること 自分 「は と に 7 中

号3ページに掲載され (友野さんの講座の (日本基督教団東中野教会牧師) ぜひご覧ください。) 様 7 子 は € √ ま

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー 2023年度事業報告(総括)

1. 事業の推進

1) 公益目的事業

昭和38年2月15日第三種郵便物認可

- (1) 関東活動センター、関西セミナーハウス 活動センター
 - ① フォーラム事業及び研修・セミナー・体 験交流事業を継続し、発展させた。
 - ② アカデミー運動の理念に従って今日的な 社会の課題に対する認識を深め、それに ふさわしい新規プログラムの開発に取り 組んだ。
- (2) 関西セミナーハウス
 - ① 当財団の事業展開の拠点として、関西セ ミナーハウス活動センターの公益目的事 業に施設を提供した。
 - ② 当財団の目的達成に資する諸団体が行う 公益目的事業を支援するため、宿泊施設 及び会議場を諸宗教団体、労働組合、文 化・社会活動団体、教育機関・学会・研 究会等に供した。
- (3) 広報活動
 - ① 関東活動センター、関西セミナーハウス 活動センター及び関西セミナーハウスの 活動状況について、機関紙「はなしあい」、 ウェッブサイト等によって継続的に情報 を発信した。

② 機関紙、ウェッブサイト等により、年度 事業計画、収支予算、事業報告、決算報 告、その他当財団に関する情報を公開し

2) 収益事業

(1) 関西セミナーハウス

公益目的利用外の一般利用者、企業等への 宿泊研修施設の貸出を行い、その収益の一部 を公益活動に資した。

(2) 日本キリスト教会館 当財団所有の事務所用物件の一部を貸与 し、その収益を公益活動に資した。

2. 事業運営推進

公益目的事業の推進に当たっては、継続的事 業、新規プログラムを問わず、予算計画を持ち、 必要財源を確保しつつ、安定的継続可能な運営を 行った。

3. 賛助会員、寄附金

公益法人への寄付により受けられる税制優遇措 置を活用し、アカデミー運動を支援する賛助会員 および寄附者からの支援を仰いだ。

(以上)

貸借 対 照 表

2024年3月31日現在

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

(単位:円)

	科目	当年度	前年度	増減
Ι	資産の部			
	1. 流動資産			
	流動資産合計	41,711,932	43,582,763	△ 1,870,831
	2. 固定資産			
	(1)基本財産	12,000,000	12,000,000	0
	(2)特定資産	11,295,646	9,725,726	1,569,920
	(3)その他固定資産	271,176,776	275,748,001	△ 4,571,225
	固定資産合計	294,472,422	297,473,727	△ 3,001,305
	資産合計	336,184,354	341,056,490	△ 4,872,136
Π	負債の部			
	1. 流動負債	8,278,889	8,006,095	272,794
	2. 固定負債	8,179,494	7,835,444	344,050
	負債合計	16,458,383	15,841,539	616,844
Ш	正味財産の部			
	1. 指定正味財産	1,460,199	2,001,135	△ 540,936
	2. 一般正味財産	318,265,772	323,123,816	△ 4,858,044
	正味財産合計	319,725,971	325,214,951	△ 5,488,980
	負債及び正味財産合計	336,184,354	341,056,490	△ 4,872,136

2024年度 読書会「キリスト教と文学」(全10回 宗教対話Ⅰ (共催:早稲田奉仕園)

2024年4月~2025年3月 第3火曜(8·12月休会) 詩人・日本聖書神学校講師 柴崎 聰さん

会場 関東活動センター会議室

ヒ

ヤ

エル・エンデの「モモ」

読書会に参加して >加者寄

ていても読む機会が無かった なかった本、タイトルは知 自認している私ですが、 みになりました。「本の虫」を 一人の手紙」から参加してい 回を重ねる毎に楽し 月の 井上ひさし「十 敏 知ら

ましたが、原作を読んで、随 禁じえません。「グリーン・マ 定しながらも、 す。「キリスト教と文学」と限 本との出会いが有るからで キリスト教の事が描写され ル」はかなり前に映画 [の物語が有ることに驚きを ることに驚きました。 こんなに広範 一で観 : 所

ぎます。 少し進んだように思います。 は 罰」は一人で挑むには大作過 なるので読みたいと言い出 す。主人が、その折りの話題に 折しも義母の新盆を迎えま 倉田百三の「出家とその弟子」 再 つ ドストエフスキーの「罪 - 読し、 親鸞と浄土真宗への理解が いて考えさせられました。 思わぬ副産物です。 改めて生きることに 読書会で取り上げて غ

柴崎 聰 講師 るかもしれません 構成、聖書の背景、主題等につ それは、作者、背景、登場人物、 届くことも大きな助けです。 崎先生から事前にレジュメが なったのです。そして毎回、柴 くださったからこそ読む気に ば理解出来ます。 んな事を言うとお叱りを受け ₹ 1 て懇切丁寧な内容です。こ めなくてもレジュメを読め が、 原作を

Ο

深くて幅広い知識をお しかも穏やかで懐深 持 ιĮ 柴 5

> が広がり、それも楽しく面白 ちなので、言葉に敏感で、物語 ます。そして、詩人の顔をお持 ても丁寧に対応してください に関連する語彙や表現に話題 今後の「カインの末裔」、 先生は、 和やかな時間になります。 的 外れの質問 をし ク を柴崎 と、 も言うべき時間を、 らみます。そして、この至福と ィヨンの妻」「日の名残り」 ララの出家」「最後の一葉」「ヴ 解いてくださるのか期待が膨 山の方々と分かち合 願うものです。 先生がどのように読み もっと沢 いたい 等

さらに豊かな礼拝のために 2024年度 話し方ワークショップ

ことばを届けるトレーニング」 元声優・舞台朗読者日本キリスト教団深川教会牧師 (全10 友野 富美子さん

2024年5月~2025年3月 第3金曜(8月休会) 日本キリスト教団 東中野教会

要望もあり、 う講座であるということ、 ニング」がようやく今年5月 ラム「ことばを届けるトレー から始まりました。 さらに豊かな礼拝のために OMではなく対面でと ング―」再開しました。 関 -ことばを届けるトレーニ 東活動センター 新型コロナウ 発声を伴 - のプロ いう グ Z イ れば「声」そのものが力をも ますがそうではありません。 切 野先生はおっしゃいます。 って相手の心に届くのだと友 ん。相手に伝えたいことがあ ど大きな問題ではありませ は魅力的ですが声の質はさほ の?」と聞かれることがあり もちろん美しく、よく通る声 なことは相手を思う気持ち 大

の皆様との再会を本当に の友野富美子先生や受講生 ので久しぶりの再開と講 長く休講となっていました ルスがある程度収まるまで しく思っています。 々この講座につい て 師

「これは発声練習の講座な

なの だと。

きます。 け方を考えます。間の取り方を分析し、自分なりの声の届 生きとするであろうと想像 と、礼拝がさらに豊かに生き 司会者のことばが整えられる 礼拝で語られる説教や証 ころが面白いのです。そして もそれぞれ人によって違うと や読む速さなど、 良くして与えられた聖書箇 に身体をほぐします。 講座の内容は、 最初 同じ箇所 姿勢を だ丁 し、 所 で

て、 す。 堂で小さなメッセージを語る ことを感謝しています。 達の心に届くよう準備 信じつつ大切な福音が子ども 好きではありませんでした で絵本を読むこともありま ことが時折ありますし、 どの機会はありませんが、会 ですので、 の教会」に関わっているだけ 職でも役員でもなく「子ども を迎えることがさらに楽しみ になりました。私は教会の教 実はこの講座に出席し始め 今はそんなことは気にせ 日曜日の「子どもの教会」 ことばが持っている力を 以前は自 聖日礼拝の司会な 分の声があまり 分級

(関東運営委員 平井祐美子)



関西セミナーハウス活動センター

スピリチュルケアのこころ— 2023年度修学院フォーラム「福祉」 ホスピスにおける宗教の役割

第 1

回

講師 関西学院大学社会学部准教授 ベネディクト・ティモシーさん 会場 関西セミナーハウスとZoomによるオンライン 2024年1月27日(土)

ピ チ いて共に考えた。 ケアを求めているのか?ホス は宗教者などが行うスピリチ いる一方、終末医療の現場で !えるホスピス患者はどんな アルケアの必要性について スにおける宗教の役割につ ュアルケアとは何か?死を .目が集まっている。スピリ ると考える人が年々増えて 日 本では、 分は無宗教で

交えたわかりやすい講演をも わされた。 その分野の研究者らを含んだ とに、ホスピス関係者や医師、 「スピリチュアル」の定義と ハ加者の間で活発な議論が交 ベネディクト講師の体験も 日本人になじみのある 難解なカタカナ語

> が亡くなるまで数ヶ月の期間 ーラが始まった頃は、利用者 また、日本でホスピスやビハ 議論の一つの焦点となった。 れている。 ほとんど意識のない状態で入 |療の進歩により、 利用者

ラムを持つことが期待される。 宗教の役割について、より深 在り方についても再考を迫ら ての課題なども提示された。 る場合が増えていて、「ケア」の 所し、短期間過ごすだけとな い議論のためには、次のフォー はなく、聖職者の責任につい 宗教の役割だけで

「ココロ」が適切かどうか

を過ごすことが多かったが、

していくこと。 な体験ではなく、

とによって生きづらさを蓄積 は、必然的にその影響を心身 対人援助の場にいる支援者 との関係性の中でケアされて 脳へのダメージは、やはり人 SDを引き起こしうる。 係性トラウマ」は複雑性PT 密な関係性の中で生じる「関 いくものである。一方、その 体験がその後ケアされないこ その中でも親 々な逆境 その 1

語り合える対話のセーフスペ の仲間がチームとして傍に存 について、傷つきについて、 最も大事なことは、 から、セルフケアは始まる。 ついてしっかり自覚すること 生じる影響、その対応行動 ぶことができた。 在していることだと改めて学 レジリエンス(※)について、 ※逆境や困難に直面した時に、それを乗 スを増やしていくこと。 自分自身 そ

り越えて適応していく力のこと。

で受け止めてしまう。自分に

2023年度 修学院フォーラム「いのち」

第 4 回

● 2023年度 修学院フォーラム「福祉」第2回

トラウマインフォームドケアと支援者支援 ~トラウマを負う人に向き合うために~」 (共催 京都丫WCA)

関西セミナーハウスとZoomによるオンライン 講師 精神保健福祉士 小川 恵美子さん

会場

事者に向きあう際の手がかり れる。 は、対人援助の現場に活かさ となり、また支援者自身のケ ムドケア)を理解すること T I C 生きづらさを抱える当 (トラウマインフォ

ながら、 参加者とオンライン参加者 ルフケア」について、語り合 の関わり」「支援者が受ける と)」「トラウマを背負う人と アにも目を向ける。 トラウマの影響」「大切なセ ードで、「トラウマについて が、小さなグループに分かれ (イメージ、自分自身のこ ・豊かな時間となった。 今回のフォーラムは、 トラウマは特別な人の特別 講師の小川さんのリ 会場

昨年度のフォーラム 現代社会におけるキリスト 性倫理の基盤をめぐって」 同志社大学神学部 関西セミナーハウスとZoomによるオンライン 「性と 嘱託講師 教 0) 2024年3月2日(土) 朝香

知己さん

る時をもった。 とにより、どのような可能性 教は、その本質に立ち帰るこ はそれに引き続き、キリスト との必要性を確認した。 リスト教の本質に立ち帰るこ をもたらした歴史を学び、キ 生を考える」で、伝統的なキリ スト教の異性愛規範が性差別 きうるのかについて考え 今回 観点から、 相対化し、 現代の神学は創世記の理解 理解に対して、バルト以降 された。このような伝統的 状況が紹介され、それらの 論の神学的妥当性に疑問が い合うという相補性の観点か 以 後は 世記1章に基づき、 異性愛を規範としてきた 問題となりえな また異なる者が それらがキリスト 殖 示 議 の な

統的なキリスト教会や神学が 香氏の講演ではまず、 <u>ځ</u> 共同体(終末論的共同体)で すなわちイエスの新し





と ス さ

に



よっ 間 な 失われ て と 新 の 制 解放 理 単 L 度 € √ と た人間 関 すること L 係 は 復 重 て が され、 生じ 要 0 が イ が 性 結 る 神 エ 示 を 婚 参 る 会 が 与えら 存 加 が 預 温者には. 在 新 であ L れた。 61 ることを 大きな励みと喜び 可 能 より多くの 性

たな

n

異

性 的

文

を

しう

に

講

演

を

えるこ

が

理 創

解 出

į

で

き 今

ば、 0

今

É

の 伝

丰

IJ りうる

ス

 \vdash لح

教

れ回

2024年度修学院フォーラム ぶ非 戦 のこころ— 「社会」 あろうと考えた。 -第2イ 第 1 回 ザ シリーズ「戦争と平和」 を 心

人

会も開

かれた場に

な

弱場 講師 関西セミナー 志社大学名誉教授 ハウスとZoomによるオンライン 2024年4月13日(土) 石 Ш 立 さん

2

0

0

ガ

な攻撃を加 志社大学神 ~と地上 日も早く終 ~を尋 バザを閉 人が、 撃し て 住民 組 23 ル € 1 々 € √ は、 が る 織 大切 えて な全滅 たの な が、 ね に イ 侵攻をくり 学部 - スラエ この熾烈な戦 た 鎖 パ マ 対 1 いと願 いる。 スが その糸 に わらせたい レ に 0 そん で長年 対抗 スチナ自 何 してきた旧 させるよう 月 大規 を語 ル イ 7 な中 とそ 世 拡 って、 スラ \Box し、 日 [も見 旧 界 げ って で、 約 の لح 争 0 Ĺ 1 治 5 って争 来両者 害 紀 バ ことから始まったとされた。 玉 連 闘 口 の 立 は、 [を経 コー が、パ 0 ユ ピ 者と共に考えた。 さんを招 ユ 家 の 石 書 原因 ダ ナチ とユ 口 ダヤ人は、 川さんはまず、 を講 ・スト ヤ 聖 験 ン 13 は、 レスチナの地 書と してきた。 ・を繰り 捕 ダ は、 ス じ 口 領土 など、 F 囚 7 1 律法遵· ۴ 国 て、 1 こら 7 返 一家に の 9 イ 紀 В 戦 L ・ツに 繰 C 所 4 元 4 し 争、 たを、 てきた。 れ 分割 守 ŋ 後 6 有 7 今 3 か よる $\frac{-}{+}$ た ĺ, 、アラブ 返 1 世 を 年 П 名 石 紀 に 1 世 め 1 0 の

⟨` 以た

0

バ <u>二</u> て苦 に取は 民 ユ は、 ダヤ人思想家 兄 神 ŋ 他 ヤ ピ の L į 次ぎ、 弟をナチス 世 0 者 Þ 口 在 か Ĺ ため 第2イ 紀 祝 みを引き受 他 ン ŋ 捕 0 福 者 方 聖 そ IJ に が 0 人 b 1 死 身 以 あ れ ザ 示 に ア る 代 ヤ 後 ż に ぬ ヴ は、 ハニア出 分け、 殺 と 倣 わ な に \mathcal{O} れ イ 害 説 うところ と ŋ ど 出 て 别 ナ 61 さ の つ と の た 61 0 ス 姿を É た。 ζ, 身 な る。 れ 預 工 形 に な 0 0

5 立ち 多 そ 神 せ 他 こころ が れ Ŧ ず、 < れ 0 上 5 1 帰ることが求 栄光が現れる、 意義深 の が預 から 卜 0) である。 を問 発題を巡って、 疑問 り高 りながら待 方的に 贈ら 言者が わ . や 意 時 ず、 れる善意は要求 我 者 となっ 語 善 めら 見 々 に 意 つ į, 仕 が 7 を捧 え、

61

た。

0

げ

参加者、 と説 た非戦 れて 会場、 た。 交 そこに そこに

13

る。

IJ ら

賛助会費・寄付金報告(1)

彼迫示世紀

聖

ヤ

辺

2024年4月1日~6月30日(順不同·敬称略)

て

同

性

を

保

ち、

神

を

B

つ

民

れ

た特 0

別な

民であ

ると

思想

を

強

ζ

保

持

し

て

き の

◆財団本部 寄付

を排除しても

ル

の

玉

立する正で、他の

パレ

レスチ

張

する

根拠

であっ

柳井 一朗

◆関東活動センター 賛助会費

平井 祐美子 松浦 茂長 星野 宗吾 河原田 美哉子 中村 信博 小原 武夫 押切 稔 竜野 かおる 小田 哲郎 道朗 坂下 神谷 伊勢男 石川 憲彦 大川 芙喜子 友野 富美子 立原 敬-古賀 博 戸村 滋見

浦上 充 寄付

松浦 茂長 日本判別教団早稲田教会 中村 信博 原誠

竹中 百合子 増田 博 村松 庸子 憲彦 石川 大川 芙喜子

竹中 百合子 ◆関西セミナーハウス 寄付

健 野口 阿部 ゆかり カブトムシまつり2024有志

◆関西セミナーハウス活動センター 賛助会費

国戦

参 Ш

わ

さ

か

村上 みか 巽 義治 中村 信博 木原 諄二 堤 龍春 多木 秀雄 五十嵐 萬里子 髙塚 郁男 小澤 妙子 浦 晴子 斉藤 洋子 水戸 潔 今川 泰彦·喜子 李 善惠 吉田力

森口 克洋 織田 雪江 伏木 信次 鳥井 清司·操 橘 俟子

次頁に続く

神学生プログラム寄付 松下 起子 浦上 充 日本キリスト教団早稲田教会 井口 拓人

プログラム案内

- ◆関東活動センター
- ■2024 年度 聖書を読む講座 I (共催:早稲田奉仕園)

「LGBTQ+とキリスト教

『虹は私たちの間に 性と生の正義に向 けて』を共に読む」

講 師:山口 里子さん(聖書学者)

日 時:4月~2025年2月、第2火曜 (8月休会) 18:30~20:00

参加費:全10回8,000円、学生4,000円 方 法:Zoomによるオンライン講座

■2024 年度 宗教対話 I

(共催:早稲田奉仕園)

読書会「キリスト教と文学」

講 師:柴崎 聰さん(詩人、日本聖書

神学校講師)

日 時:4月~2025年3月、第3火曜 (8、12月休会)14:00~15:30

参加費:各回 1,000 円

会 場:関東活動センター会議室 (キリスト教会館1階16号)

東西南北

◎榎本空さん(関西運営委員)は、 第十回日本翻訳大賞(日本翻訳大賞 実行委員会)を受賞されました。 受賞作: 『母を失うこと-大西洋奴隷航路 をたどる旅』サイディヤ・ハートマン著 おめでとうございます。

◎都木かおり(本財団職員)は、永年 勤続(30年)の表彰を受けました。

◎中村勇人は、7月1日付、関西セミ ナーハウス (フロント) に着任しました。

関東活動センターHP





関西セミナーハウスHP KSH 活動センターHP



公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー 代表理事 中村 信博

本部事務局

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23 TEL 075-711-2147 FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館 1F

TEL 03-3207-6198

E-mail:info@academy-tokyo.com 関西セミナーハウス/

関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23 FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115 F-mail:info@kansai-seminarhouse.com 関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117

E-mail:office@academy-kansai.org

■2024 年度 話し方ワークショップ 「さらに豊かな礼拝のために ことばを届けるトレーニング」

師:友野富美子さん(日本キリスト 教団深川教会牧師)

時:5月~2025年3月、第3金曜 (8月休会)18:00~19:30

参加費:各回 1,500 円

会 場:日本キリスト教団東中野教会

■2024 年度 今日的課題

「LGBTQ+と教会

壁を造らない共同体をめざして」

講 師:中村 吉基さん(宗教と LGBT ネットワーク代表)

時:6月~12月、第2火曜(8月 休会)15:00~16:30

参加費:各回 2,000 円

場:関東活動センター会議室

(キリスト教会館1階16号)

■2024 年度 宗教対話 II

(共催:柏木義円研究会)

「柏木義円公開講演会」

講 師:未定

日 時:11月16日(土)

方 法:Zoom によるオンライン開催

◆関西セミナーハウス活動センター

■2024年度修学院フォーラム「いのち」 第1回「咸錫憲(ハム・ソクホン)のシアル (民)思想が問いかける非暴力平和運動」

シリーズ「戦争と平和」

講師:朴賢淑(パク・ヒョンス)さん(大阪 女学院大学·短期大学准教授)

日 時:8月31日(土)13:30~16:00 参加費: 2,000 円 学生 500 円

方 法:会場関西セミナーハウスと Zoom 併用

第2回「『ギルガメシュ叙事詩』と旧約 聖書」[対面開催]

講 師:月本 昭男さん(立教大学・上

智大学名誉教授)

日 時:9月15日(日)16:00~16日

(月・祝)15:10

参加費:16,000円 学生8,000円 (1泊3食、宿泊税込)

会 場:関西セミナーハウス

■2024 年度開発教育セミナー

「対面開催〕

第3回「私からはじめるアドボカシー ~市民社会を築くために~」

講 師:加藤 良太さん(市民社会スペ ース NGO アクションネットワー ク(NANCiS) コーディネーター)

時:9月7日(土)16:00~8日(日) 12:00

第4回 「市民(わたし)から始める

~難民と一緒に暮らせる街をめざして~」

講 師:田中 惠子さん(NPO 法人 RAFIQ 難民との共生ネットワ ーク代表理事)

日 時:10月5日(土)16:00~6日(日) 12:00

参加費:12,000円(泊食代、宿泊税込)

会 場:関西セミナーハウス

■2024年度修学院フォーラム「福祉」 第1回「夜回りの活動を通して見えてく るもの」

講 師:桜井 希さん(同志社中学・高等 学校教諭)

日 時:10月12日(土)13:30~16:00 参加費:2,000 円 学生 500 円

方 法:会場関西セミナーハウスとZoom併用

賛助会費・寄付金報告(2)

Christian M. Hermansen

徳田 信

大谷 光真

木下 壽子

長塩 滋子

小笠原 純

2024年4月1日~6月30日

(順不同·敬称略)

◆関西セミナーハウス活動センター 山岡 義生

賛助会費(前頁続き) 山本 貴之 藤田 恭子

比嘉 美智子

医療法人わたなベクリニック 木村 護郎クリストフ

真鍋 裕子 佐藤 友紀

竹中 百合子 熊谷 文郎·惠子

八杉 恵 陶村 世佳子

西川 淑子 三矢 明

山添 みどり 新宗連大阪事務所 公文孝枝 菅原 幸子

山本 俊正 日野 多栄子 松岡 蓉子 匿 名

近藤 恵

田中 義信 宮本 桂子 シュペネマン偕美 寄付 村上 みか 中村 信博 木原 諄二 延原 正海 井口 拓八 斉藤 洋子 水戸 潔

小久保 正 川北 かおり 森口 克洋 林律 間瀬 啓允 藤田 恭子

根岸 宏邦 姫野 眞知夫

横田 穂美 島田恒

桜井 希 柳井 一朗 竹中 百合子

西川 淑子 菅原 幸子 山本 俊正

熊谷 沙蘭 匿名 山岡 義生 坪野 えり子

Christian M. Hermansen

匿名 南 和子 福留 順子

日本判計教団寝屋川教会

桜井 希 宮本 桂子 織田 雪江

以上、感謝を持ってご報告申し上げます。